

## 『子育てサポート Smile』

【ごあいさつ】(久しぶりの校長室通信です)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、ようやく学校再開になり1ヶ月になりました。

約2ヶ月半におよぶ臨時休業におきましては、各ご家庭のご協力のお陰をもちまして、大きな事故もなく過ごしていただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。子どもたちの学校生活も少しずつ通常の状態に戻りつつある状況です。

しかしながら、私たち大人でも経験のしたことがない、2ヶ月半という連続した期間を家庭で過ごし、学校生活から離れていた影響は、学校再開当初よりも表面化してきた状況もあり、教職員一丸となって対応している次第です。その幾つかの現状を下記に記載しましたので、各ご家庭でも、子どもたちが楽しい学校生活が送れるよう背中を押していただきたい思います。

【多くの人との関わりを学ぶ活動】

- 本校の重点目標に“思いやりの心”を育むことを掲げています。その一つが、より多くの友達との交流を意図した「2年生時の学級編成」です。子どもたちが人と人との関係づくりの経験を積み重ねることができるよう取り組んでいます。もう一つが、右記の写真のような「縦割り清掃活動」です。上級学年の子どもたちが、1年生や2年生の手を取り、清掃場所へ移動し、掃除の仕方を優しく教えながら一緒になって活動する取組です。特に、6年生の子どもたちがしっかりと活躍しています。



【縦割り清掃風景】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年、実施していた「1年生を迎える会」や「鼓笛パレード」ができなくなりました。そこで、6学年では、1年生の入学をお祝いする気持ちと鼓笛パレードができない代わりに、自分たちの一致団結した姿を披露したいとの思いで、先日、1年生に鼓笛の演奏を披露しました。



【1年生の入学を祝う鼓笛演奏風景】

1年生も6年生も、ソーシャルディスタンス(人との距離)を意識して整列し、練習時間のない中で精一杯の演奏をしてくれました。気持ちの伝え合い、人と人とのつながりを感じさせる取組でした。当日は、多くの保護者の方が見に来ていただきました。

【今の課題は・・・】

- 学校再開され1ヶ月余り、長期的な臨時休校の影響か?…とも思われますが、学校生活のリズムにまだ戻れない子どもがいます。朝の登校渋り、授業中の集中力が持続しない、離席、時には授業中の暴言など、何かに不満を持ち、または自己中心的になつたりする姿が見られます。これは、本校だけの状況ではありません。他校でも少なからず見られる子どもの状況です。  
これらに対して、本校では、学級担任はもとより、学年担当、さらには管理職を含む担任外の教職員で個別指導を中心に、一人一人に寄り添いながら、早くあるべき姿に戻るよう取り組んでいます。学校が再開されてまだ1ヶ月です。今後もしっかりと取り組んでいきますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。
- 不審者情報(声かけ事案)が入りました。今日の朝刊に福島市で発生した事案が載っていました。市教委からの注意喚起のメールが届いたと思いますが、被害防止のための対応(極力、複数で下校すること、すぐ逃げること、近隣の民家や事業所に駆け込むこと、防犯ブザーの携帯と活用など)について、各ご家庭でも確認していただきたいと思います。  
学校としても、警察署や市教委等と連携し、学区内のパトロールや登下校時の街頭指導・補導等を強化していきたいと考えています。よろしく願いいたします。

◎ 学校に対する「質問」、「意見」や「要望」がありましたら、学級担任や担当教職員、教頭または校長へ直接、お気軽にご連絡ください。

須賀川市立西袋第一小学校

【連絡先】Tel 0248 - 76 -5131 Fax 0248 - 63 -8517

文責 須賀川市立西袋第一小学校長 星田弘美